

日進月歩

福山市立長浜小学校
2023年(令和5年)10月26日
6年学年通信 No. 18
長浜学区ふれあい体育祭

長浜学区ふれあい体育祭 応援ありがとうございました。

15日は小学校生活最後の体育発表会でした。ご参観くださった保護者の皆様、ありがとうございました。子ども達は演技はもちろんのこと、練習への態度や係の仕事や準備など、最高学年として全校を引っ張って行ってくださいました。これまでの練習の成果を発揮し、最高の姿を輝かせることができました。

これで終わりにするのではなく、身に付いた力をさらに高めるべく、次の行事、学習発表会に向けてまた突き進んでいきます。温かいご声援をありがとうございました。



長浜小学校最高学年として、みんなを引っ張り、盛り上げ、最高の体育祭を作り上げてくれました。ありがとうございます。組体操も、一人一人が信頼し支えることで一つ一つの技が完成できたと思います。六年生全員の動きに感動しました。この経験を次に生かしていきます。

これで小学校生活最後の体育祭が終わりました。次の大きなきょうじは、学習発表会です。六年生心を一つに頑張っていきたいと思います。



題名「心を一つに」

十月十五日に、小学校最後の体育祭がありました。去年はコロナウイルスが感染し始め長浜小学校の生徒だけの運動会になったけど今年は、コロナウイルスが収まり始めたことで地域の人達も一緒に運動会をすることができました。

最初に練習の成果を発揮できた場面は、応援団です。他学年が競技を行っているときには、全力で応援しました。応援団のみんなが声を合わせ、ふりを練習するために何度も何度も休憩時間に練習を積み重ねてきました。そしていよいよ五・六年生の最初の競技の順番がきました。自分の力を一杯に出して走った徒競走です。最初の競技というのもあってとてもきんきょうしていましたが、お母さん達の顔が見えて少し緊張が抜け何と最後まで走り切る事ができました。

そして、地域の人達の競技や他学年の競技が終わってお昼ごはんの時間になりました。お昼ごはんでは、お母さんとおばあちゃんを作ってくれたお弁当を食べました。競技や応援を頑張ったからかいつもより美味しく感じました。

そして午後の競技が始まりました。午後の競技で最初にやったのは綱引きです。練習のときやりハールサルのときはすべて赤組に負けていて悔しくて泣いている人もいました。そんな事もあって少し自信をなくしている人が多かったけど、勝ちたいという思いをみんなが持っていたおかげで、それぞれ勝てるユツなどを調べてきたり、それをみんなに伝えたりして本番では、三回戦中すべて白組が勝つことができました。このときはとても嬉しかったです。お母さんたちに勝つ姿を見せられたことがとても嬉しかったです。

そして私自身一番運動会で楽しみにしていた、一番高学年らしい競技を見せられる組体操が始まりました。組体操は、赤組白組関係なくみんなで心一つにしてやりました。今回はさつきも書いていたようにコロナウイルスが収まり始めたことで四・六年技もできました。人の上に乗る技もたくさんあったので一秒でも油断せずにやりました。一つずつの技が決まったときに拍手の音が聞こえたときは技が決まったという気持ちが一番強くとても嬉しく気持ちになりました。

この一日使った運動会をどうして、私は誰かがいないといいものは見せられないということに気づきました。この気付いたことで私はこれからどのようなことを大切にしていけばいいのかを考えたときに一番に頭の中にかんだのは周りの人を大切にすることです。友達や家族を大切にしているためには、人に傷つく言葉や強い言い方は言わないということをいつでも頭の中に入れておこうと思います。

そして大切なこともしっかり気づき小学校最後の運動会は、楽しい思い出に残りました。

題名「最後の体育祭」

最高学年として体育祭を通して、わたしには気持ちを切り替えるという力がつきました。今までは、楽しかったやもつとしたかったと思う出来事が終わった後は友達と話をしたり、笑っていたりしたけれど最高学年だからみんなのお手本になろうと思いつながら取り組むことができた。友達が笑っていたと思うけれど周りを見て今何をすることが正解なのかをしっかりと考えて取り組むことができました。私のかかりの放送も最後まではきはきと聞こえやすい声で行うことができ、終わったあとパパやママに褒めてもらうことができました。

そして、競技で私が一番頑張った競技は組体操です。今まで一番練習時間が長かった組体操、わたしは四人技をとても頑張って練習しました。はじめ、先生に技を教わってもらって練習したときは絶対にできないと思ってたけれど、ほぼ毎日みんなを心一つにして練習することでできないうと思っていた技もできるようになりました。今までは不安定で友達から手を離すことが怖かったときも技も止まらずに最後まで頑張ることができました。また、私の体育祭のめあて「仲間を信じる」も達成することができました。一人技、二人技、四人技、六人技、全員技すべて完璧に技をすることができたし五年生、六年生全員心を一つにして演技することができたと思えます。綱引きでは、今まで練習で白に負けたことはなかったけれど本番では負けてしまいました。とても悔しかったし勝たなかったと思つたけれどとても楽しかったと思えました。徒競走では、リレー選手の門田さん、森平さん、三好さんと走りました。結果は四位だったけれど、最後まで諦めずに走ることができたのでよかったです。そして、代表でた浜っ子リレーは今まで練習では四位だったけれど本番では三位になることができました。みんなで休憩時間を使って作戦をたてたり話をたくさんして最後まで全力で走ることができました。私達のチームのめあては「バトンをつかんで、勝利をつかもう」でした。一位になる事はできなかったけれど練習のときの自分には、勝利することができました。

この体育祭で私は他学年とも六年生ともとても絆が深まったと思います。